

日時：平成 26 年 11 月 25 日（火）18 時 30 分 ～20 時

場所：平賀農村環境改善センター

対象町会：藤野、南田町

参加人数：12 名

■要望、質疑応答

内 容
<p>○避難場所の耐震診断について</p> <p>（市民からの要望・質問）</p> <p>平賀体育館及び平賀農村環境改善センターは避難場所となっているが、耐震診断は行っているか。</p> <p>（市の回答）</p> <ul style="list-style-type: none">・両施設ともに耐震診断を行っており、大丈夫だという結果である。
<p>○長期避難時の生活物資の確保・備蓄について</p> <p>（市民からの要望・質問）</p> <p>長期避難の際、生活物資の確保・備蓄についての市の考えは。</p> <p>（市の回答）</p> <ul style="list-style-type: none">・長期にわたる場合、小中学校を拠点避難所としている。生活物資の備蓄等は、県でスーパー等と災害応援協定を結んでいるので、それを活用し食料を含めた生活物資が供給される仕組みとなっている。
<p>○夜間・休館日における避難場所について</p> <p>（市民からの要望・質問）</p> <p>災害時に避難してきた場合、夜間・休館日における避難場所（平賀体育館及び平賀農村環境改善センター）の鍵の開閉はどうなっているか。災害が起こった場合、職員が来なければ入られないのか。</p> <p>（市の回答）</p> <ul style="list-style-type: none">・避難所の開設は市で行うので、職員が配置され鍵の管理をする。・現在、各町会にお願いしているのはあくまでも自主的な避難所の開設である。災害が発生し、市が避難所を開設するとなれば、改善センターも避難所に指定されているので職員が対応することになる。・町会内で自主的に避難する方がいる場合、町会では集会所を持っていないので、別途協議したい。・去年の台風や今年の水害の時も、健康センターに何人か自主避難された方がおり、ご飯

を提供した。

(市民からの意見)

平賀農村環境改善センターの隣に炊き出しができる施設（平賀給食センター）がある。

○平賀農村環境改善センター敷地内の通行止めについて

(市民からの要望・質問)

シルバー人材センター（以下「シルバー」）が移ってきてから、平賀給食センターとの間の敷地が車両通行止めになった。なぜか。

(市の回答)

- ・4月からシルバーの事務所が移った。朝に会員の方たちが来る際、体育館から給食センターへ通り抜けする車が多く危険であると話し合いの中で出てきた。シルバーが事務所を構えるにあたって、そこを車が通り抜けできないようにしたいと申し入れがあった。そこは道路ではなく敷地である。

(市民からの要望・質問)

道路ではないが、長年使っているので通行止めにされると不便である。午前8時位になると、シルバーへ来る車はほとんどいなくなる。それでも日中ずっと通行止めをしなければならぬのか。長年利用している当町会に文書等で教えてほしかった。

(市の回答)

- ・シルバーとの話し合いで通行止めとすることになった。元々道路ではないことがその理由となっている。シルバーでも事故の際、責任が持てないということで判断したようだ。手順を踏まず申し訳ないが、ご理解願いたい。
- ・周知したが、たしかに周知期間が短いのではないかという声があったようだ。

(市民からの要望・質問)

資源ごみの日、ひらかドーム方面の方は自転車や徒歩で資源ごみステーション（平賀体育館駐車場脇）に持ってくる。冬期間は通行止めのままだと除雪した雪の山になると思われる。そうなった場合、ドーム方面の方は大変不便になり、本来資源ごみに出すものでも燃えるごみになってしまう。冬期間のことも考慮してほしい。人が通れるよう通行の確保をしてほしい。

(市の回答)

- ・冬はシルバーの会員も少なくなるので、通行できるよう担当課へ連絡する。

○資源ごみステーションに設置されたカメラについて

(市民からの要望・質問)

夜間体育館を利用している人が、資源ごみステーションをごみ捨て場に、ペットボトルを置いていく。以前、監視カメラを設置したが、カメラに映らないように置いていくので意味がない。カメラが2機あると聞いたがどうなったのか。

(市の回答)

- ・2機のうち1つは壊れているので、来年度予算要求する予定である。監視カメラはごみの不法投棄であれば効果がある。

○去年の町会要望の結果について

(市民からの要望・質問)

去年、町会要望で旧道（コーポナリタから平賀自動車学校への道路）の舗装を要望したが、進捗状況はどうなっているのか。

建設部からは「雪が降る前に片付けたい」と言われたが、答えが曖昧である。いつまでに行うのか示してほしい。

(市の回答)

- ・先日、大浪バイパスから藤野町会へ入る道路を確認した。今年度でできるようであればやってもらうよう、もしくは平川中央保育園のところを途中まで舗装しているので、それにつなげて舗装できるよう指示している。
- ・今朝、担当課に確認したところ、大変申し訳ないが今年度は無理なので平成27年度予算で平川中央保育園から大浪バイパスへ舗装の続きをやりたいという事だった。

(市民からの要望・質問)

それは、職員のみ話し合いで町会には知らされていない。先週、マンホールの脇を補修していたが道路舗装ではなかった。平成27年度に確実に行われるのか。

(市の回答)

- ・当初、穴埋めで予算計上していたが、穴埋めの予算が尽きたようだ。穴埋めよりも経費がかかるがオーバーレイの予算はあるものの、要望している箇所をやるには足りない。帯に短し襷に長しである。しかし、それでは理由にならないので担当へ注意する。
- ・今年度やれなかったことは、来年度まちがいなく予算計上した。お許しいただきたい。

○融雪溝に流れるごみ

(市民からの要望・質問)

融雪溝に唐竹方面から水だけでなく、りんご、ナイロンや剪定後のサワラ等色々なごみも流れてくる。

とにかく流れてくるので、どこから来ているのか調べた。新館市営墓地に上がっていく

所から U 字溝が浅く、蓋がない。その状態で高速道路の下を通り新館町会の墓地前を通っている。その後、新館町会を通り、道路を横切って直井鉄工所に行っている。直井鉄工所を過ぎれば、また U 字溝に蓋がなくなる。雇用促進住宅から柏木町へ行く道路で左右に分かれる。

蓋がされていない箇所に蓋をしてもらえれば、ごみは流れないのではないかと。

融雪溝にいったん水が溜まり、その勢いで流れるように止めがついているが、そこにごみがひっかかり、上に水があふれるので自主的に何度も取っている。

(市民からの要望・質問)

アップルランドの川にも何でも流れてくる。夏場はごみ溜まりとなる。どこかに柵をして、柵にひっかかったごみを上げるようにしたらどうか。

(市の回答)

- ・ 蓋をすれば、逆にごみがひっかからないか。ごみを捨てる人のモラルの問題でもある。
- ・ 当初、新館町会で融雪溝をやった。そこに県道の拡幅工事があったので、道路の歩道を作った際に融雪溝の延長をした。

(市民からの要望・質問)

水は最終的にピザ 10.4 がある十字路のところへ流れていく。それをまっすぐ駅前まで流せないか。市役所前等は水がきていない。

(市の回答)

- ・ 駅前の方は水害の時に水が溜まりやすい。健康センターの裏はとくに被害がひどい。佐藤長の裏にある水路はふちをかさ上げしてもあふれてしまう。柏木町の水害常習地帯について頭を悩ませている。
- ・ 町会要望でも側溝に関する事が一番多いので、順番を追って計画していきたい。

○歩道の除雪について

(市民からの要望・質問)

片側しか歩道の除雪をしていない。ドームへ歩いていく人が多いので除雪してほしい。現在は自主的に町会で行っている。

(市の回答)

- ・ 歩道の除雪は通学路が優先される。通学路でない歩道の除雪は、経費がかかるので行っていない。
- ・ そこは除雪のコースになっていない。新館へ行く方の歩道は、通学路なので除雪している。
- ・ 今井産業からドーム前の T 字路も除雪していないということか。持ち帰り検討したい。

冬場どの位の人がドームへ歩いて行っているか確認したい。子どもたちの安全を確保することが優先なので、除雪コースに入れることができるか検討したい。

(市民からの要望・質問)

先程も出たが、ドームへ曲がるT字路のところで子どもがぶつかりそうになったことがあったようだ。近所の方が自主的に除雪している。ぜひ検討してほしい。

○工事業者について

(市民からの要望・質問)

平賀体育館隣のグラウンド工事をしているが、ダンプが道路に土を落としている。業者は後始末が悪い。

(市の回答)

・そのような時は、市役所へ連絡をください。業者へすぐ連絡する。

○融雪溝の蓋について

(市民からの要望・質問)

建設協会付近の方は、融雪溝よりも後で家を建てたので、家の前に開閉できるグレーチングがない。向かい側には開閉できるグレーチングがいっぱいある。

(市の回答)

・土木課で設置している。町会によっては、加入者から融雪溝の負担金をとっている所もあるが、藤野ではどうか。

(市民の意見)

藤野では負担金はない。以前、新館町会で困っているような話を聞いたので、融雪溝利用者から負担金を集めることを検討し、新館町会長へ伝えたら「そうであれば、新館町会は唐竹町会へお金を払うことになるので」と断られた。

新館町会では利用者が負担金を払い、泥上げも行っている。

(市の回答)

- ・光城でも年間 2,000 円払っている。本町の倍、加入者の家の前は開閉のグレーチングで、加入していない家のところは開閉できなくなっている。
- ・融雪溝の設置条件の一つは、流れてくる水があるかである。水がないところはポンプアップでくみ上げるので、電気料を受益者が負担している。
- ・開閉できるグレーチングの設置については、土木課へ確認する。

○U字溝の蓋について

(市民からの要望・質問)

宝美園の向かい側だけ U 字溝に蓋がない。ゴミが詰まっても掃除できるように、開閉できる蓋を取りつけてもらえないか。危険なので取りつけをお願いしたい。現場を見に来てほしい。

幅 30~40cm、深さ約 30cm、延長約 10m だと思う。平賀電気商会から森のしずくの所まで蓋がついていない。工事の際、町居西田と町居南田で違うと言われた。わたしの所までが町居南田であり、隣の町居西田だけ工事をした。

(市の回答)

- ・優先順位や予算の関係があると思う。場所を確認したい。
- ・U 字溝によっては、蓋ではなく本体を取り換えなければならないものもある。現場確認したい。

○側溝について

(市民からの要望・質問)

平賀体育館向かいから木村電気店へ通じる道路(裏通り)の側溝にも蓋をお願いしたい。

一旦町会長に伝え、町会長から市へお願いする方が要望が早く実現するのではないかと考えたが、転入してから1年しか経っておらず、よくわからないので今日はいいい機会だと思ってお話したい。

駅周辺の側溝には蓋をしているが、平川中央保育園の向かい側等はしていない。雇用促進住宅の辺りも両側に蓋がある。

(市民からの意見)

保育園の向かい側(駅へ向かって右側)の側溝に蓋をかけたいと思ったが、秋になると保育園にある銀杏の木から葉が落ち、付近の方から掃除しづらくなるので蓋をしないでほしいと言われた。そのため町会要望等に出していない。市役所から機械を貸すと言われたが、軽トラを持っている方もあまりいないし高齢者も多いのでそのままになっている。

常時、水が流れている側溝であれば蓋をしてもいいが、水が流れていない所であれば蓋をしても大変になる。

(市の回答)

- ・町会内で問題がある場合、まずは町会長へ連絡をしてもらうのが基本である。しかし、毎年、町会要望が2件までなので、実現には時間がかかる。
- ・まちづくり懇談会では、町会要望で出されていること以外でも早急に対応しなければならないことがあるため、皆さんからのお話を伺っている。また、この懇談会を通してコミュニティ活動の機運を高めていきたいし、新しい提案等もいただければ市政運営の参考にしていきたい。
- ・体育館向かいから木村電気までの通りについては、順番があるのでかなり遅くなると思

うが長期計画に入れる。

○県道について（マンホールの凹凸）

（市民からの要望・質問）

3年位前に水道が破裂したので舗装した。段差があるのか、土砂を積んだ大型ダンプが通るとバンと音がし、家が揺れる。普通車であれば音がしないので揺れない。工事の現場監督にも話したが、それっきりで連絡がない。水道が県道を横断している状況である。

（市の回答）

- ・水道管の破裂であれば、水道業者が復旧している。転圧が不十分だったのだろう。現場を見て土木課から県へ連絡させる。

（市民からの要望・質問）

ある時、道路に水がわいていた。水道だと思い市役所に連絡したら現場確認してくれたが、市の水道ではなく新館の簡易水道だと言われた。

その後直したが、土砂を積んだ大型車が通ると音がし、家が揺れるという状態となっている。

（市の回答）

- ・簡易水道なので県へ要望しても、簡易水道で補修してくださいと言われるだろう。復旧した業者は市ではわからない。
- ・すぐやってはもらえないかもしれないが、県へ要望を出させる。

○宅地造成について

（市民からの要望・質問）

小和森小隣の宅地が完売したようだが、今後、市として宅地造成をし、人口増加を考えているか。平賀地域での商店街の発展は難しい。弘前市へ近いので平川市へ住む方が増えれば税収増につながるので、ぜひ対策を考えてほしい。

（市の回答）

- ・市として光城のような宅地造成は考えていない。民間による宅地開発で平川市へ住んでもらえる人を増やしたい。市で用地買収し宅地造成となれば、完売できる保証がなく難しい。
- ・弘前市と一緒にになった市街化区域の計画なので、県では人口が増える見込みがなければ市街化区域を増やせない方針である。
- ・子育て支援として、第2子からの保育料無料化等を行った。市の特定出生率は1.28で、県の1.41より低いので、なんとか増やしたいと思っている。それだけでは人口は増えないので、去年から若い夫婦が家を建てる場合に補助をする等平川市に住んでもらえるよ

う施策を考えている。

- ・経済的なことだけでなく子育て環境（保育園、学校教育）等トータルで考えなければ人口は増えない。
- ・空き家の利活用を考えており、空き家対策検討委員会も開催している。空き家条例に関して3月議会までに作りたい。
- ・業者による宅地開発は、道路幅が狭く雪捨て場が確保されていない等の問題がある。
- ・都市計画課で開発業者に①行き止まりの道路をなるべく作らない ②雨水が流れる設計にする ③雪捨て場の確保等指導するが、業者は少しでも多く区画を増やそうと基準ぎりぎりにしようとする。基準を満たしていれば法令上問題はないが、それでももう少し道路や雪捨て場を広くするようお願いしている。

○雇用促進住宅について

（市民からの要望・質問）

雇用促進住宅は、今後どうなるのか。現在、入居者はいるか。場所もいいし、近くに陸上競技場等ができるので、更地にして駐車場にする等利用できないか。

（市の回答）

- ・地元の方以外にも避難者等5軒入居している。
- ・まだ財団法人のものである。借地借家法で前から住んでいる人には住み続ける権利があるので、移転先が見つからない等の理由で引き続き住んでいるようだ。震災があったので廃止が延びている状況であり、終期は不明である。
- ・市で買って欲しいときだが、耐震問題や5階建てにもかかわらずエレベーターがない等の問題がある。あのままでは市としての利活用は難しい。雇用促進住宅の駐車場は市の土地である。

○ひらかドーム内の暖房施設について

（市民からの要望・質問）

ドームに暖房がないため、子どもたちを迎えにきた保護者は寒い思いをしている。今年暖房が入ると聞いたが、どうなっているのか。

（市の回答）

- ・ドームの1塁側と3塁側にダッグアウトを作り、その中を電熱ヒーターで温める計画である。ドーム全体を暖めるとなれば相当な暖房設備が必要となり、結露ができる。ダッグアウトは今年中に設置予定である。

（市民からの要望・質問）

グラウンドゴルフの最中、上から雪が落ちてきている。

(市の回答)

- ・ドーム内の換気のため、上部を開口している。雪が少し積もれば、ドームの屋根を点検し、雪を落としている。前に屋根が破れた時は、雪ではなく氷状になっていた。
- ・ドームを作った際、体育館のような屋内施設ではないと言われた。雨や雪をしのいで、冬でも土の上で運動できるだけの構造である。施設内にほとんど暖房は入っていないので、当初から外の服装で利用してほしいと呼び掛けていた。
- ・一時的に暖を取るだけでも違うと思うので、ダッグアウト型の暖房を採用した。設置後の利用状況をみたい。

○ひらかドーム付近（平賀地域）に飲食店がほしい

(市民からの要望・質問)

ひらかドームにはお茶を飲める店がないので、会議室等を利用しているようだ。遠方から試合に来て、平賀地域にはファーストフードのような軽食を食べられるような店が少ないので弘前市や黒石市へ行かなければならない。それでは平川市にお金が落ちない。ちょっと立ち寄れる店があれば違うと思う。

(市の回答)

- ・商工会に要望するが、今はそのような店を経営する人がなかなかいない。

○ひらかドーム脇の多目的広場に東屋を設置してほしい

(市民からの要望・質問)

ドームの裏に滑り台等の遊具があるが、日陰がないので東屋のようなものを設置してほしい。

多目的広場となっているが、子どもが遊ぶだけでなくいろいろなことに使うため東屋がないのか。

(市の回答)

- ・多目的広場は、就学前の子どもが遊べる遊具を設置しているほか、サッカーができるようになっている。たしかに屋根がついているものはなく、木が成長すれば日陰ができると思うが、なかなかそこまで成長しない。テニスコートの方に日陰はある。

(市民からの意見)

子どもが小さければ傍で見えないといけない。

(市の回答)

- ・第2期平賀総合運動施設では、そのようなスペースを確保するよう計画している。遊具があるところへ連絡通路も作る予定である。
- ・陸上競技場と野球場の間にトイレ、倉庫、雨よけになる場所を作る予定である。

- ・真ん中の道路4m幅で舗装し、軽自動車であればすれ違えるようにする。できるだけ交通に支障をきたさないよう緩やかなカーブの道路にする計画である。

(市民からの要望・質問)

プールと雇用促進住宅へ行く道路の右側の側溝に水が流れていないが、埋める計画なのか。

(市の回答)

- ・そこは計画外である。

○高齢者と地域に対する施策について

(市民からの要望・質問)

農家の手伝いをし、ハウスや畑で作業したが大変だった。周りは73歳の自分より年上ばかりだった。高齢者と地域に対する対策は考えているか。5年後、10年後に若い農業者や地域の産業は先が見えない。

(市の回答)

- ・高齢化社会が進むが、ずっと農業をやってきた方には畑で体を動かすことが生きがいとなっているので続けてほしい。そのような意味で健康づくり、高齢者に対する生きがいづくり支援は今後も続けていきたい。
- ・雇用の場を確保することだが、工業団地に企業を誘致しても埋まらなかったり、不景気になれば撤退する。平川市は精密機械の工場や食産業の工場があり雇用の場として確保しているので、今ある企業を育てたい。
- ・バイオマス発電でも90人位の雇用があるとみている。
- ・一次産業でいえば、りんご、もも、高冷地野菜等々やっている若い人たちも増えているので、その方たちを活かしながら雇用の場を作っていきたい。

(市民からの意見)

地球温暖化になり、りんごもそのうち北海道で栽培されるようになる。りんごだけで勝負はできなくなる。

商工会が中心となった労働環境のコラボを考えている。農業がシーズンオフになった時の労働力を流動化させてほしい。若い人がいないわけではない。労働力を吸収できないだけである。地域の方の知恵も足りない。力がある農家が外国人と手を組む等ビジネス拡大を支援し、若い労働力を呼び込む政策をしてほしい。

(市の回答)

- ・経済部で産業の元気プロジェクトとしてブランド化、6次産業化をやろうとしている。廃校になった広船小の活用や県の加工センターを取得し、各町会での加工品を作ってい

る人たちに利用・販売してもらおう等を考えている。

○グローバルな人材育成について

(市民からの要望・質問)

もっとグローバルな人材を育ててほしい。日本でのりんごの相場変動もひどく、農家は苦勞している。世界はオープンマーケットである。青森県に空港があるので、世界一といってもいいりんごを海外に売り出してほしい。

弘前市でもりんごの海外輸出を始め、この辺の人たちにもその機運が芽生えてきている。それに伴う人材を育成してほしい。

(市の回答)

・県は、りんごや農産物に対して「作るのは一流だが、売るのは三流」と言われてきた。いただいたご意見を参考にしたい。